

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和2年9月2日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>ジュネットコミックス382 ピアスシリーズ576 ゆとりとアラフォー</p> <p>令和2年8月5日発行</p>	<p>画力があり、ネームもしっかりしていて、BLマンガとして完成度が高い。BLマンガでの見せ場の一つである性行為シーンのクオリティも高い。男性器も消しているが、ところどころ甘さがある。擬音、体液と消しの甘さをすべて足すと青年レベルを超えたかと思う。指定やむなし。</p> <p>消しはしっかりしていて、やや強要と見える部分もあるがそれほどでもない。ただ最後の読み切りが学校を舞台にし、入学を許可するかしないかというところでの性行為や輪姦がある。全編大部分とまでは言えないが、最後の数ページが厳しい。指定該当やむなし</p> <p>「ゆとりとアラフォー」は、上司への反発心や葛藤がありながらも、恋愛感情に変わってゆき、2人の人生を豊かにしていこうとする流れ。性器の修整は一部やや甘く体液描写もあるものの、一定の節度を感じる。ただ「セックス&スクールライフ」に関しては、学生が学校に在籍し続けるために、望まない形で性交渉を強要され、暴力的なシーンも多い上、性器と体液の描写が激しい。指定やむなし。</p> <p>性器は白抜きで修整されており、やや形状が分かる程度。表紙のあらすじに「犯され」「なぶられて」とあったが、それほどではなかった。絵もガチャガチャして分かりづらい。擬音はおびただしく、体液も粘り気のある描き方で卑わい感がある。ストーリー性もあまり感じられず、ただ性行為をダラダラと描く印象。『セックス&スクールライフ』は学生間の性行為を「性奴隷」として描いており、これも青少年に読ませるには不適切と考える。指定該当</p> <p>ストーリーとしては部下と上司の関係というありがちな話であるが、全編に亘って性描写がある。性器部分は修整されているものの、擬音や体液の描写が非常に多く、中でも後半部分で学校の授業中、教室で強制的に性行為に及ぶというシーンもあり、青少年への悪影響ありと判断する。指定該当</p> <p>描写そのものは残虐性等はなく、著しく性的感情を刺激している程ではないとも思えるが、物語性がなく性描写が際立つ。指定該当と考える。</p> <p>性器は修整されており、強めの性描写の数は過剰とまではいえない程度。しかし、白抜きで修整していることを理由に、結合描写が多い印象もある。汗を含めた体液描写も一般的な作家よりも多めの作家であることをさし引いても、擬音が細かく多い。総合的に判断して、保留</p> <p>性器は一部形状が判別できる箇所があるものの、白くぼかす手法で修整は確実に加えられている。擬音、体液描写は多い印象。中盤以降は同意の上で行為に及んでいると思われるが、導入部分は酔って寝ている部下に対し上司が合意なく行為に及んでいる。保留</p> <p>性器は消してあり、それほど卑わいに感じない。この程度であれば特に問題はないと思う。指定非該当。</p> <p>絵柄はきれいで卑わい感はない。性交場面の描写の分量もさほど多いとは感じなかった。性器の消しもしっかりしている。テーマも「社会人男性同士の恋」であり、人物造形に厚みがある。その中で一部、立場の優位な者が、立場の弱い者に暴力的に性交を要求する場面もあるが、テーマ、分量、抑圧表現の軽さなど考えれば、人格否定とまでは言えない。指定非該当</p> <p>上司と部下の恋愛ストーリー。全体の半分くらいは、性行為はあるものの直接的な描写は少なく感じる。性器もぼかし、挿入シーンも角度を付け、ある程度配慮はうかがえるが、体液が目立つ。残り3分の1はほとんどの性描写が全開で、性器もリアルに描いているものもある。最後の短編は複数プレイもあり、全体に与える影響はあるが全編大部分とは言いがたい。指定非該当</p> <p>コミカルで読み易い。性器及び性交シーンもあるが、全体的に描かれている量はそれほど多くないと感じる。器具の使用や暴力行為もなく、人格否定は感じられない。指定非該当</p> <p>全体を通してストーリーがしっかりしていて、人格否定的な印象も受けない。性器は確実に白抜きで修整されており、卑わい感もない。指定非該当</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和2年9月2日実施)

	図書名等	聴き取り内容
2	<p>田舎</p> <p>令和2年8月29日発行</p>	<p>線は淡白で卑わい感を感じられなかった。性器の消しもほぼ完全になされている。ストーリーも成人同士であれば全く問題がない。しかし、小学生、中学生という言葉は避けられているものの明らかに低年齢の体力に欠ける女性を相手にする性交を単純化して全編に展開し、痛みを訴える少女に行為を要求するシーン等、弱者に対する人格否定の美化が明確となっている。指定やむなし。</p> <p>登場する2人に対して、言葉として学生を表す表現はないが、描写からは想像することができる。性器、性行為の描写はBLほど直接的ではないが、子供っぽく描かれているので、行為の描写に卑わい感があり、倫理的にも疑問。指定該当</p> <p>著者独特の世界観が全開のコミックス。完成度も高い。性器はほとんど描かずに消しも少しだけ。だが、女の子の見た目が問題。世界観は理解できるが、幼年と未成年に見えることが青年レベルを超えたと思う。指定やむなし。</p> <p>虚無感を表すには作者独自の世界観でそれが発揮されている。だからといってそこまで描いていいのかは考えなくてはいけない。「部活」や局部に「入りづらい」といった子供を想起させる表現は直接的でないにせよある。世界観は理解しながらも、全体の3分の2以上に性描写があることから、指定やむなし。</p> <p>この著者のこれまでの作品からすると性器の修整度は高く体液描写も少ないように感じる。日本を代表する筆力を持つ作家である著者が、田舎の情景描写を通しながら登場人物の男女が結びついていく過程はとても美しく、文学性を感じる。後半に行くにしたがって男性器の修整が甘くなり、リアルな描写が増えていること体液描写も激しいことを考慮し、指定該当と判断する。</p> <p>絵が上手く趣のある作品。性器も修整されており、擬音、体液もおびただしくはない。性行為に至る過程も細かに描いている。だが、体の描き方、構図に卑わい感がある。擬音も多くないが、効果的に頭にひびく描き方のため、刺激が強い。ストーリー性も結合するまではあるが、その後はただセックスするだけでも感じられる。青少年には不適切と判断し、指定該当やむなし。</p> <p>全編にわたって性器は修整されている。画力がすさまじいこと、繰り返し性行為が描かれること、少女の年齢が気になることを踏まえ、成人向き。指定該当</p> <p>性器や結合部についてははっきりと判別できない様に白くぼかす手法で修整が加えられている。暴力、強制に該当する様な箇所は見受けられない。非常に画がきれいで完成度の高い作品ではあるが、未成年者と思われる登場人物が性行為に及ぶ描写がかなり多く見受けられることから指定やむなしと考える。</p> <p>女の子は小学生の高学年程度の年齢に見え、倫理的な問題がある。とはいえ、絵は綺麗で表現力もある。迷ったが、総合的に判断して今回は指定該当とする。</p> <p>女の子が中学生という設定は、顔や容姿、または、会話などから容易に想像できてしまう。ストーリーは、ノスタルジックで昭和っぽく終盤のコマにもあるように夢の中の話のようで現実味がない。判断が難しく保留</p> <p>際だって卑わいな感じもなく不快な感じもないと考える。保留</p> <p>最初から最後まで性描写がある。修整はしっかりしてあり、性器はまったくわからない。ただセックスシーンというよりお医者さんごっこのように感じる。人間の本能なのでそれほど問題はない。指定非該当</p> <p>主人公が未成年の女の子という設定にひっかかりはあるが、絵の表現に卑わいさを感じない。性交シーンはあるが、暴力的な行為もない。指定非該当</p>